

～新規会員募集&更新のお願い～

**わわわ**の活動を  
いっしょに支えてください！！

まちわくは、すべての人々が、自らの暮らすまちを想い、考え、納得してつくっていきけるような市民社会の実現をめざして日夜活動を行っています。まちわくと一緒に活動をしてくれる方、または活動を支えてくれる方を募集しています。あなたが参加しやすいカタチでまちわくの活動を支えてください。

また、各会員は、1年更新とさせていただきますので、現在会員の方も時期がきましたら更新をよろしくお願いたします。会員特典を多数ご用意しております。

	会員の種類			
	まちわくメンバー (正会員)	まちわくパートナー (準会員)	まちわくサポーター (賛助会員)	まちわく学生サポーター (学生会員)
年会費	10,000円	5,000円	5,000円/ノロ	500円
議決権	○	—	—	—
各種講座割引	20%割引	10%割引	—	—
ファシリテーター派遣割引	20%割引	10%割引	—	10%割引
会報誌(年4回)	○	○	○	○
メールマガジン	○	○	○	○

**入会方法**

所定の入会申請書にご記入ください。

↓  
Email, FAX, または郵送で事務局までお送りください。

↓  
下記口座まで会費をお振込ください。

[名義] 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく  
[郵便振替口座] 01780-5-131392  
[銀行振込] 琉球銀行 本店営業部 普通0061389

[編集/発行]



特定非営利活動法人  
まちなか研究所

**わわわ**

〒900-0013  
那覇市牧志3-8-28-2F  
Tel/Fax : 098-861-1469

(桜坂Village内)

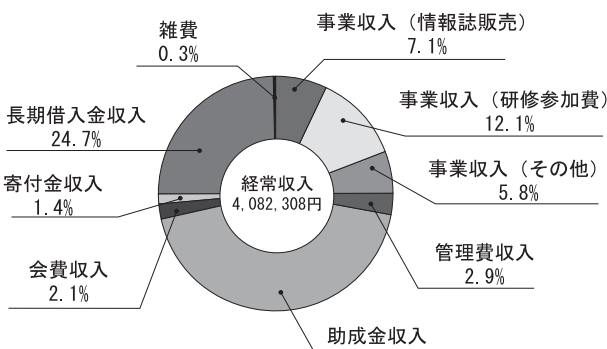
HP: <http://www.machiwaku.com>  
Email: [office@machiwaku.com](mailto:office@machiwaku.com)

平成17年度  
まちわく決算書を読む

平成17年度の(特活)まちなか研究所わくわくの決算書を分析しました。平成17年度の総収入は4,082,308円で、収入内訳を円グラフで示しました(下記グラフ)。収入科目として上位を占めたのが、助成金収入43.6%、長期借入金収入24.7%でした。助成金収入は、3カ所から「社団法人沖縄建設弘済会」「フィリップモリスジャパン市民活動～住民活動助成」「那覇市」からの助成金・補助金をいただくことができ、ファシリテータ増殖プロジェクトやにぎわい広場での事業活動を行うことができました(裏面の事業報告を参照)。長期借入金収入は、4人の常務理事が事務所管理費として毎月資金を出しています。一方、事業収入は、合計25%で自主事業はまだ芽だしの段階であることが伺えます。また、会員収入が2.1%と低く、人々に共感されるような活動や広報活動が今後求められます。

団体の立ち上げ期であるため、活動資金が少なく、事業展開していくためには助成金の役割は大きいです。今後、安定した活動をしていくには、不安定な助成金収入から、会の内部から発生する会費や自主事業へ収入構造を転換していくことが求められます。(詳しくは、平成17年度まちなか研究所わくわく事業決算書をご覧ください。)

まちわくの収入内訳



2006年  
6月10日 創刊号

contents

- 通常総会開催のご案内
- 平成17年度まちわく決算書を読む
- まちわく大放談会
- 平成17年度まちわく事業報告 & まちわくの歩み
- 新規会員募集と更新のご案内

平成17年度もまちわくの活動は盛りだくさん(詳しくは紙面を広げて見て下さい)で終わることができ、2回目の通常総会を迎えることができました。今年の通常総会は、なはまち連絡会と合同シンポジウムを開催します。内容は、「マチグワ×子ども＝那覇のまちの未来～子どもが育つマチグワになるには～」基調講演にパネルディスカッションとみなさんと一緒に議論し、まちわくの現場を感じていただけたらと思います。シンポジウムに通常総会と長時間になりますが、会員の皆様、ご参加よろしくお願いたします。

シンポジウムのお知らせ

なはまち連絡会結成 & にぎわい広場1周年 記念シンポジウム  
マチグワ×子ども＝那覇のまちの未来  
～ 子どもが育つマチグワになるには ～

- 基調講演『地域をつくる住民の学び』  
櫻井常矢 氏 (高崎経済大学 地域政策学部 地域づくり学科)
  - パネルディスカッション
- 日 時 : 2006年6月25日(日) 14時～17時 (17時30分より地域交流会予定)  
場 所 : にぎわい広場(第二牧志公設市場跡) ※野外になります  
主 催 : なはまち連絡会  
共 催 : 那覇市、(特活)まちなか研究所わくわく

会員の皆様へ

通常総会開催のお知らせ

シンポジウム、地域交流会終了後に、(特活)まちなか研究所わくわくの2006年度通常総会を開催いたします。お忙しいとは思いますがご参加下さいますようよろしくお願いいたします。

日 時 : 2006年6月25日(日) 19時30分～20時30分  
場 所 : にぎわい広場(第二牧志公設市場跡) ※野外になります

特定非営利活動法人 まちなか研究所 **わわわ** 広報誌

まさやく大放談会な夜

参加者: 小阪亘★佐々倉玲於★宮道喜一★山脇佳子  
場所: DAOにて

- わくわくな二年を振り返る
  - 小: 一年で少し名前が広まった? 週一回は、ちゃんと集まりを持って活動することができた。
  - 宮: 地域情報誌を作ったことにより、わくわくの活動へ常時参加できる場ができた。あと、にぎわい広場にWSして建物がたつた。
  - 佐: しかし、まちわくの活動に積み重ねが感じれない。まちわく年表をつくる。成長具合がわかるようにしたい。
- 5周年に向けてまちわくはどうなっているのか
  - 佐: NPO就職がありえる環境をつくる。今やっている活動で食えたらと思っている人は多い。
  - 山: 事務所にクーラーがつく(笑)
  - 宮: まちわくといったらこれ! というわかりやすいもの。伝えられやすいものがある。それにお金を払ってくれる人がいる状態。
  - 佐: 時間があつたらな～フィーバー変化は内側からやってくる(by池住さん) どんだけ待てばいいのかな。この2、3年かな?
  - 小: まちには、時代々の課題があり、その解決をはかる。次の変わるべくまちの方向のテーマがだせたらいいかな。それに向けていい準備しときたいね。
- なんてまちわくやってるの? わくわくするポイント
  - 小: まちわくが考えている分野は、まだ市場化されていないから、やりがいがある。まちわくの役目はその階段を低くしてのぼれるようにすること。
  - 佐: 違うポイントをしっかりとつとく。人権にかかわることだとはっきりおかしといえる。
  - 宮: 変更できる計画。評価してかえていく。社会もかわる。ビジョンはある。それに向かっている方法。達成する手段。
  - 佐: 勝手に決めたことは動かない。共感を得られない。決断した人が動かないと当事者が大事
  - 佐: 時間がかかっているところをよく見ると住民が主体であるかどうか誰が何をやるか?
  - 小: まちのなか地縁的でないからテーマ型の組織が担える。人の移動が激しいなかで、地域の担い手はだれ? まちの決め方運営の仕方があれば
  - 小: まちの計画として、どんな計画があるのかわからない。行政のつくる公的な計画から商店街の計画のビジョンづくりまでそこになにかかわれるか? そこに暮らす人が全然わからない状況。
  - 佐: わくわくで決をとるときは。わくわく度で平均50以上にならないとやらない。(笑)



宮道喜一



山脇佳子



小阪亘



佐々倉玲於

# まちわくは

## 最初の1歩（年）を いかに踏み出したか！？



特定非営利活動法人として最初の1年が過ぎていきました。事務的なこと（税務や会計、各書類手続き）に関しては、全てが初めての経験で見聞きしながらなんとか乗り切ることができました。2005年度のまちわく一押しの活動をお伝えします。

### 2005年度のまちわくこれでスタート オープニングイベント「地域の思いを実現する力」

沖縄における「地域の力」とは？にぎわい広場での取り組みを事例に30名の参加者とともに考えました。ゲストスピーカーには、林泰義氏（玉川まちづくりハウス）伊藤雅春氏（大久手計画工房）八甫谷邦明氏（季刊まちづくり）佐藤亮子氏（アール・スクエア）をお招きし、多様な切り口でマチグワーの地域の力について議論を深めてくれました。



### にぎわい広場の運営を考える市民の会

にぎわい広場の管理運営を通じて人とまち、人と人、組織と組織のつながり／関わりを取り戻すためのまちについて話をするのできる場を開催。組織を超えて多様な人が集まっています。その会議の内容を「まちなか現在」という情報誌で逐一周辺住民にお知らせ、現在で11号を数えます。会の名称を周辺状況の変化とともに変わり、現在は「なはまち連絡会」として活動を行っています。



### にぎわい広場（旧第二牧志公設市場跡地） オープニングイベント



第二牧志公設市場跡地の整備事業が完成しオープニングイベントを有志を募り、那覇市と共に実施しました。まちわくは事務局を担いました。このイベントを通じてにぎわい広場を存在を広めるきっかけになりました。イベントの後、にぎわい広場の運営を考える市民の会ができるきっかけとなりました。

### ♪まちなか婚♪

2005年10月29日（土）

にぎわい広場で、まちわくの理事宮道喜一さんと顧問の小野尋子さんが結婚式をあげました。末永くお幸せに。次に続くのは誰だ！？



## 春夏秋冬

### 地域情報誌 み～きゆるきゆる第三号「前島号」発行

2004年夏に創刊。那覇中心部を対象として、そのまちを見守り、育んできた「人」にスポットをあて、「まちななりたち」と「まちな今」を伝え、そこに暮らす人に新たな発見のある情報誌を目指しています。み～きゆるきゆるは、まちを知り、感じ、体験し、愛着を持つことができるように、毎月十数名のメンバーで工房396というグループをつくり作成に取り組んでいます。これまで創刊号「桜坂」、第2号「久茂地」、第3号「前島」と、エリアを限定して特集を組んできています。



- み～きゆる作成に関わったメンバーの声
- みんな個性的でいろんな考え、想いを持っていて、勉強になります。
  - 関わる人が増えていくことを目指し、若い人たちが活動していることを見ることが大事でそれがまちを活性化させると思う。まちを盛り上げるのはイベントだけじゃないという活動の一つになるんじゃないかな。
  - 地域の人からの評価が高いことが一定の質の高さを証明していると思うので、じっくりと作りたい。
  - 最初に企画していたものから、取材やまちあるきを通じて地域の見方が変わり、それがきちんと記事に出来たことがうれしい。
  - 前島号に限らず毎回ですが、終わってから分かった事や新たな変化など、続編の制作ができればいいなあと。それによって地域とのつながりを維持できるのではないかな？と思う
  - 作成中、作成後も地域の人とのつながりができたように感じる

### ファシリテーター増殖に向けての 人材育成プロジェクト



県内で参加型の話し合いの場をつくる必要がある人（建設コンサルタント職員・NPO職員・行政職員等）を対象に、県外でファシリテーターとして第一線で活躍する講師を招いて、参加型の話し合いの場をつくるための本質的・基礎的なところから、技術的なところまで学ぶことができる講座を3回実施しました。

- 第1回：Step1 ワークショップの心  
中野民夫氏（ワークショップ企画プロデューサー）
  - 第2回：Step2 ワークショップの技  
青木将幸氏（青木将幸ファシリテーター事務所 代表）  
志賀壮史氏（有限会社里山計画研究所 代表取締役）
  - 第3回：Step3 ワークショップの実践  
池住義憲氏（国際民衆保健協議会日本連絡事務所 代表）
- 【参加者の声】  
・場の雰囲気づくりができていて安心できた。「プロのための」とあったので、自分でもいいのかとちょっと不安もあったが、かなり楽しく受講できた。  
・社会、自然、人に対してどういふスタンスでいるのかももう一度自分に問い直しつつ・・・参加型のワークショップがどういふものかよく理解できました。

## まちわくの歩み

### 2004年度

日時	事業内容	分類
4	まちなか研究所わくわく（任意団体）設立	
8/1	地域情報誌「み～きゆるきゆる 桜坂号」発行	情報収集と発信
8/16	設立総会	
12/4	都市再生大学那覇校	市民団体支援
2/28	地域情報誌「み～きゆるきゆる 久茂地号」発行	情報収集と発信
2/10	地域学習活動支援交流セミナー	市民団体支援
	牧志第二公設市場跡地整備計画意見交換会	参加の場企画運営
	字砂辺市民農園・公園ワークショップ	参加の場企画運営
	久米島地域福祉計画	参加の場企画運営
	なはまちつくる議会	政策等の提案
	勤労者ボランティア受け入れ実態調査	調査研究
	子育てネットワーク風のうたHP	デザイン支援
	ONE（沖縄自然体験ネットワーク）HP	デザイン支援
	ピースラブマチグワー&壺屋まつり実行委員会ポスター作成	デザイン支援
	KOKOLOプロジェクトロゴ作成	デザイン支援
	国頭ツーリズム協会パンフレット作成	デザイン支援
	NGO列島縦断フォーラム沖縄ブロック告知パンフレット作成	デザイン支援
	国際中央通りの建物が外観をリアルに再現したマップ作成	デザイン支援

### 2005年度

日時	事業内容	分類
4/2	まちわくオープニングイベント「地域の思いを実現する力」	参加の場企画運営
5/14, 15	にぎわい広場オープニングイベント	参加の場企画運営
5/20	中社連ボランティア担当連絡会勉強会	市民団体支援
6/7	学童指導員向けワークショップ研修	市民団体支援
6/30	財団法人おきなわ女性財団職員スキルアップ勉強会	市民団体支援
7/14	中社連福祉推進部会研修会「会議の進め方」	市民団体支援
7/25	読谷村ボランティア連絡会研修会	市民団体支援
7/30	まちなかアカデミー「防犯パトロール」	参加の場企画運営
8/29	大里村合併意見交換会（ファシリテーター）	参加の場企画運営
10/30	「アートNPOフォーラム」パネリスト	市民団体支援
11/5	久茂地小の存続を望む会（11日、17日）	市民団体支援
11/18	国際通り中心市街地の活性化シンポジウムパネリスト	市民団体支援
12/10, 11	ファシリテーター増殖に向けた人材育成プロジェクト第一回	市民団体支援
12/16	地域情報誌「み～きゆるきゆる 前島号」発行	情報収集と発信
1/21, 22	ファシリテーター増殖に向けた人材育成プロジェクト第二回	市民団体支援
2/11, 12	ファシリテーター増殖に向けた人材育成プロジェクト第三回	市民団体支援
	にぎわい広場の運営を考える「なはまち連絡会」（月1回開催）	参加の場企画運営
	松川宇誌作成支援事業	参加の場企画運営
	子育てネットワーク風のうたHP	デザイン支援
	ONE（沖縄自然体験ネットワーク）HP	デザイン支援
	地域活性化協力隊ロゴ作成	デザイン支援
	沖縄県ボランティア・市民活動支援センター情報誌「Chu」表紙作成	デザイン支援